

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 27 年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図1～5）

31日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳の噴気帯で白色の弱い噴気が認められました。グスク火山の北側火口壁及び火口内で白色噴気が認められました。

硫黄岳からグスク火山の西側海岸線に沿って長さ約1400m、幅約150～300mの淡褐色～青白色の変色水が認められました。

なお、グスク火山の西側海岸の急崖の北端付近では、前回の観測（2015年11月29日）以降に発生したと考えられる斜面崩壊が認められました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

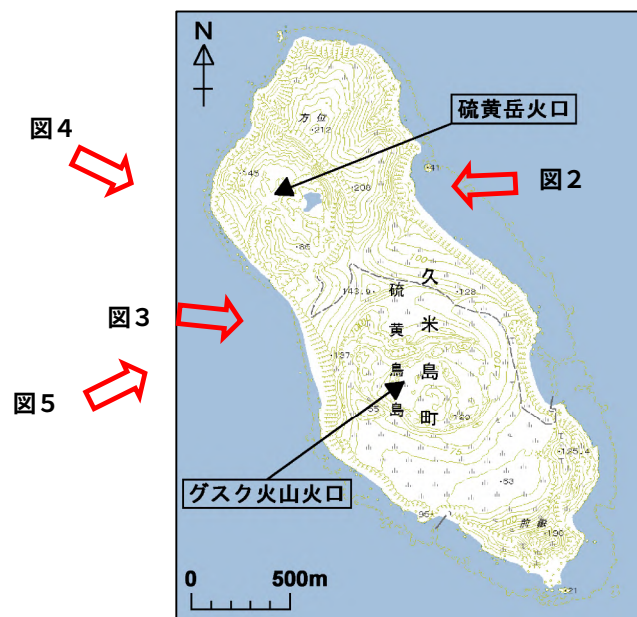


図1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

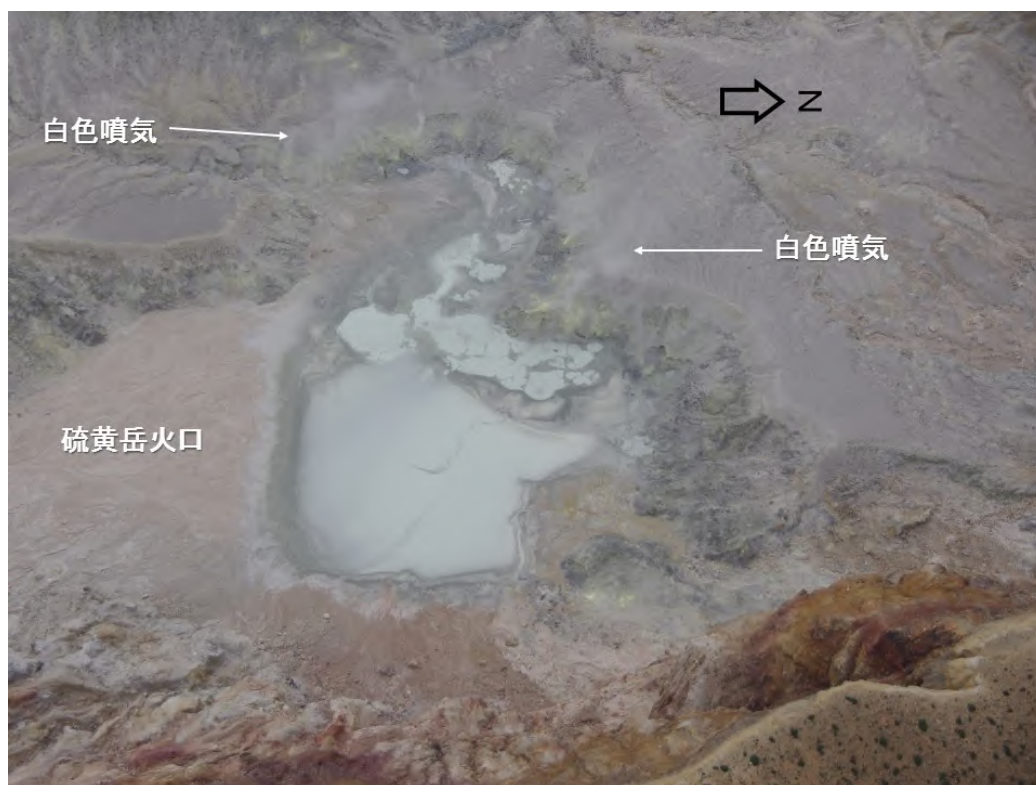


図2 硫黄岳 （12月31日10時59分 東方向から撮影・第十一管区海上保安本部提供）
・硫黄岳の噴気帯で、白色の弱い噴気が認められました。



図3 硫黄鳥島 ガスク火山の北側火口壁及び火口内（12月31日10時56分 西方向から撮影・第十一管区海上保安本部提供）
・ガスク火山の北側火口壁及び火口内で白色の噴気が認められました。

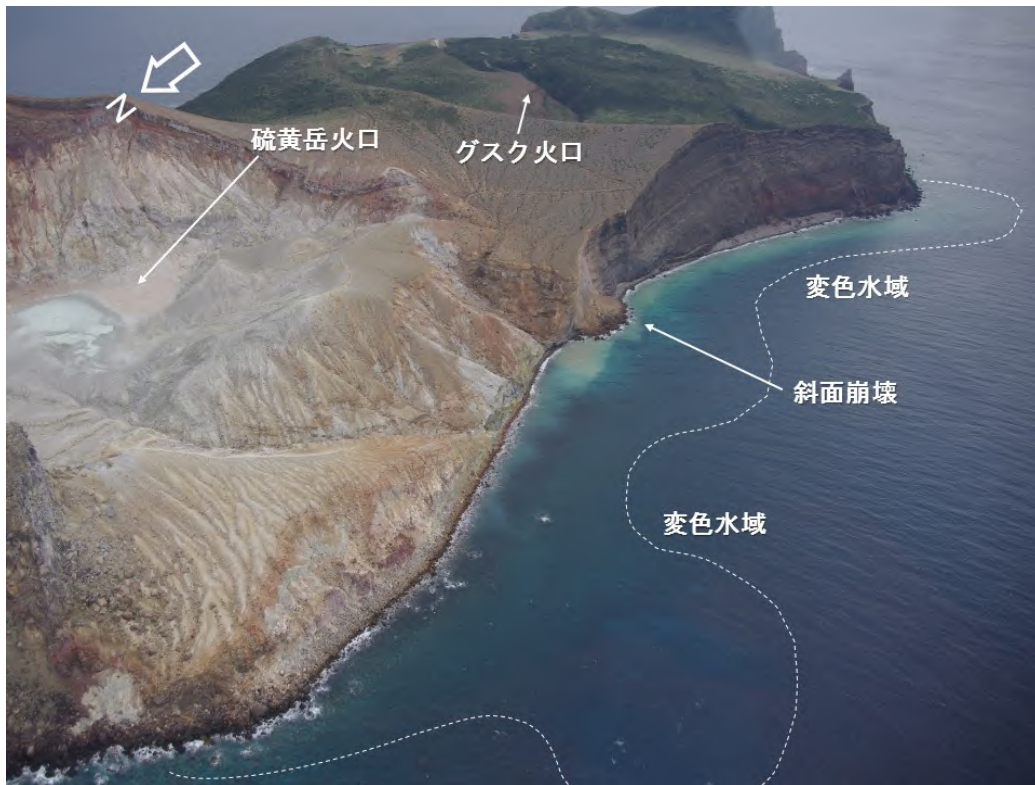


図4 硫黄鳥島 西側海岸線の変色水の状況（12月31日10時59分 北西方向より撮影・

第十一管区海上保安本部提供）

- ・硫黄岳からグスク火山の西側海岸線に沿って長さ約1400m、幅約150～300mの淡褐色～青白色の変色水が認められました。



図5 硫黄鳥島 西側海岸の斜面崩壊状況（12月31日10時57分 西方向より撮影・

第十一管区海上保安本部提供）

- ・グスク火山の西側海岸の急崖の北端付近では、前回の観測（2015年11月29日）以降に発生したと考えられる斜面崩壊が認められました。